

# 強風時における安全対策 (平成5年12月改訂)

## 【風速について】

- (1) 平均風速 : 地上高さ10mにおける10分間の平均値です。  
(気象庁の予報等は、すべて平均風速で発表されます。)
- (2) 平均最大風速 : 24時間中に観測された平均風速のうちの最大値です。
- (3) 瞬間最大風速 : 瞬間的に観測された最大値です。  
(風圧荷重による安定性の計算をする時に使用します。)

## 【強風時の安全対策について】

平均風速が10 m/sec 以上になり危険が予想される場合には、作業を中止し、次の処置を実施して下さい。(クレーン等安全規則 第74条の3、第74条の4に準拠)

- (1) 平均風速が10 m/sec 以上の時
  - a. 上廻りとクローラを同一方向にして、本体の背面(カウンタウエイト側)より風を受けられるようにして下さい。
  - b. エンジンを停止し、すべてのブレーキ及びロックをかけて下さい。
  - c. フロントジャッキ(自立ジャッキ)及びアウトリガジャッキを軽く接地して下さい。  
(本体を完全にジャッキアップすることは不安定になりますので、絶対に行なわないで下さい。)
  - d. フロントアタッチメント(ハンマ、オーガなど)を地上に降ろし、巻き上げロープを軽く張って、ブレーキロック及びドラムロックをかけて下さい。  
(アースオーガはキリモミ状態で下に降ろした方が更に安全です。)
  - e. 強度充分なトラワイヤーをリーダ上部より前後2か所以上に張って下さい。
- (2) 平均風速20 m/sec 以上の強風が吹くと予想される場合には、リーダを地上に倒して下さい。
- (3) 台風予報、大雨注意報の発生時には、下記の対策も併せて実施して下さい。
  - a. 降雨水の流れにより足もとの土砂が流されないかを調べ、もし危険が予想される場合には高台へ移動して下さい。
  - b. 軟弱地盤の場合には、敷鉄板を使用するか、堅い地盤に移動して下さい。
  - c. 見張り人をつけて下さい。